

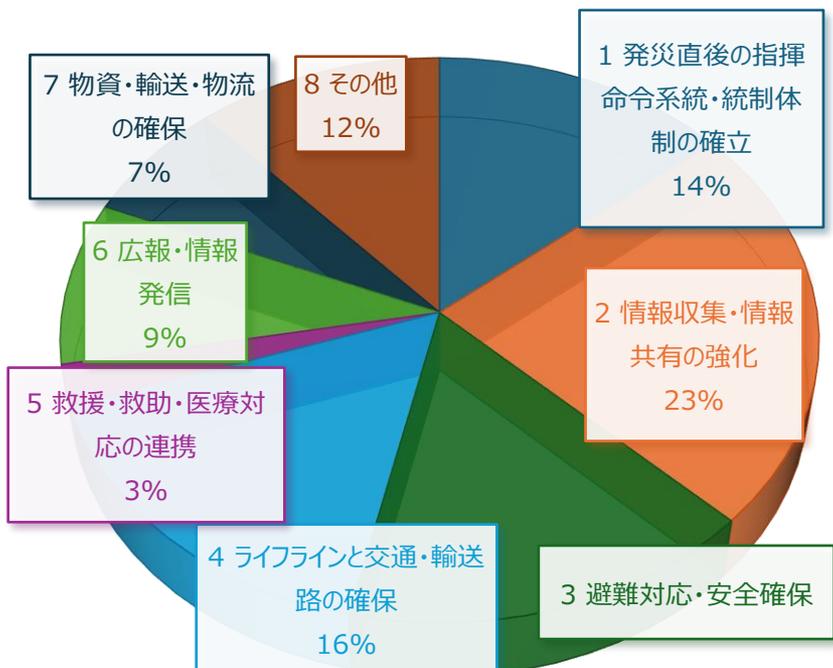


八雲町防災会議において、7月30日カムチャツカ半島地震に係る津波警報対応についての振り返りを行うとともに、災害時における関係機関（消防、警察、医療、教育、地域代表など）相互連携上の課題・改善点を洗い出すため、事前アンケートを実施しました。（開催月日：令和7年9月26日 出席者：23名）

(1) 貴組織・団体において今回、明らかになった課題や問題点は何ですか？（複数回答）

【回答項目】

- ① 発災直後の指揮命令系統・統制体制の確立
- ② 情報収集・情報共有の強化
- ③ 避難対応・安全確保
- ④ ライフラインと交通・輸送路の確保
- ⑤ 救援・救助・医療対応の連携
- ⑥ 広報・情報発信
- ⑦ 物資・輸送・物流の確保
- ⑧ その他



順位	該当項目
1位	情報収集・情報共有の強化（23%）
2位	避難対応・安全確保（16%）
3位	ライフラインと交通・輸送路の確保（16%）
4位	発災直後の指揮命令系統・統制体制の確立（14%）
5位	広報・情報発信（9%）
6位	物資・輸送・物流の確保（7%）
7位	救援・救助・医療対応の連携（3%）
8位	その他 特に意見無し（12%）



組織・団体名	(2) 貴組織・団体において今回、明らかになった課題や問題点について	(3) 新庁舎における相互連携において提案・要望事項
函館地方気象台	気象台と八雲町防災担当との間で、相互に電話（ホットライン）により情報提供・共有を行った。これにより、八雲町で避難所運営や避難者への対応等を円滑に行うことができたと聞いている。緊急時は引き続き上記のように対応していくとともに、平時には防災教育や訓練等への協力を行っていきたい。	リエゾン時に利用できる場所の提供をお願いしたい。
第一管区海上保安本部函館海上保安部	各自治体との相互連携はなく、振興局を通じて各自治体の避難所設置状況等を把握していた。	
北海道森林管理局渡島森林管理署長	特になし	災害時、停電による新庁舎の機能維持のため予備電源等の確保と住民への速やかな情報提供。例えば、道路の通行止め措置の状況（通行止めの理由など）避難施設の駐車可否状況等。
北海道渡島総合振興局地域創生部危機対策室	避難情報・被害情報等の共有ができた	
北海道函館方面八雲警察署長	職員を派遣して情報を共有することができた	
北海道旅客鉄道（株）八雲駅長	今回の警報で当駅から町へ列車の運行状況の情報提供が一切出来ませんでした。また、町のLINEを確認すると当駅所在地の本町は避難指示の対象地域に含まれておりませんでした。事業所への避難指示の情報伝達についてご検討をお願いします。	
東日本電信電話（株）北海道事業部北海道南支店長	伝達系統図に沿って具体的にどこまでの情報をどのような手段で（電話、メール等）受け渡しを行うかが課題と考えています。今回のケースでも気象庁からNTT東日本への直接連絡はなかったようです。	今のところありません。今後具体化されていく中で出てくる可能性があります。



組織・団体名	(2)貴組織・団体において今回、明らかになった課題や問題点について	(3)新庁舎における相互連携において提案・要望事項
北海道電力ネットワーク （株）八雲ネットワークセンター長	今回の津波警報で相互連携したものはありません	【要望事項】 弊社事務所が富士見町、東町にあるため、避難指示により両事務所から退避する場合に、人員・車両の待機場所として庁舎の一部を借用させていただきたい。 （理由） 八雲ネットワーク管轄（八雲町、長万部町、せたな町、今金町）で、避難中に電気設備の故障などにより停電が発生した際には、弊社社員が現地へ出動する必要があり、そのための人員、車両の待機場所を確保したい。
北海道電力ネットワーク （株）江差ネットワークセンター長	<ul style="list-style-type: none"> ・津波警報・注意報の発出がなかったため、特になし。 ・熊石町は停電時の連絡先は「熊石総合支所」であるが、今回の災害が派生した場合も連絡先に変更はないか？ 	
八雲アマチュア無線クラブ会長	ほとんど連携がなっていない。避難場所・避難経路が全く機能していない。幼稚園児が、避難所まで、徒歩では間に合わない。現実避難所、町民センターに、避難しても、エアコンは効かない、食事もでないありさまで、家に食事に帰っていたら、避難の意味がない。車で避難した人は、渋滞、避難場所が決まっていないから、同じ場所に逃げて渋滞です。枠組みができていないから、渋滞が発生することになる。前から、話してははずなのに、まだ枠組みができていない。お粗末対応しか思えない。人命を軽く見ている。まだ書きたいことが話になりませんのでこれまでです。	
落部漁業協同組合代表理事組合長	<ul style="list-style-type: none"> ・一時避難所とはなっていたが、落部地区民への認識があるのか。 ・高台への避難場所へは何人か避難していたが、漁船の沖出避難時に車にて岸壁へ乗り置きする組合員もおり、連携と認識不足があると思われる。 	国道も通行止めとなり、支所の在り方、情報共有を新庁舎より指示を出せるのか。
航空自衛隊八雲分屯基地司令兼北部高射群第20高射隊長	連絡官を派遣し、情報共有等にて連携できた。津波の蓋然性が高い際に、基地より不安全な役場庁舎に連絡官を派遣できなかった。	新庁舎における提案・要望はなし。 一方で、現庁舎は、津波が到達するおそれがあるのに、対策本部を1階に設けることは、危機管理上不安があります。